

第14回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会
JMSCA スポーツクライミング競技規則 適用変更内容一覧

該当条項	変更内容および注意
第30条	<p>(変更)</p> <p>本競技会は、次の各号に定めるラウンドで構成する。</p> <p>(1) スタート・グループごとに2本の異なるルート(“A”および“B”)を使用し、デモンストレーションの後に実施する予選</p> <p>(2) 各カテゴリーにつき1本のルートによるデモンストレーションを行わずに実施する決勝</p> <p>※以下、全ての条項において準決勝に関する規則は適用しない</p>
第34条	※適用せず
第35条	<p>(変更)</p> <p>決勝の定員は26名とする。</p>
第42条	※適用せず
第58条	<p>(変更)</p> <p>(3) 決勝では、第56条適用後に同着の選手がある場合、当該選手の順位は先立つラウンドの順位へのカウントバックによって決定する。ただし、当該カウントバックの実施後、<u>1位～8位</u>に同着がある場合、クライミング・タイムがより短い選手を上位とする。</p>
第65条	<p>(変更)</p> <p>選手の成績判定および順位付けに関する抗議は、当該ラウンドの公式成績の発表から5分以内に文書で申し立てるものとする。</p> <p>2 ※適用せず</p>
—	<p>団体順位算出方法について</p> <p>第10章 チーム・リード 第147条を適用する。</p>
第147条	<p>(変更)</p> <p>3 決勝に出場したチームについては、前項適用後になお同着のチームがある場合、当該チームの順位は予選のチーム順位へのカウントバックによって決定する。ただし、当該カウントバックの実施後、なお同順位のチームがある場合は、各チームの決勝におけるクライミング・タイムの合計がより短いチームを上位とする。</p>